

◆その手術、本当に必要？

『a.腰の手術』

「MRIで手術は決めない」
手術が必要かを決めるのはMRIや、レントゲンではありません。
これらの画像診断はあくまで補助的に用いられるべきものです。キチンと診察をし、病態を把握して手術適応（手術が必要か、手術をしなくては治らないのか）が判断されなくてははいけません。

「神経の障害を確認」
具体的には、

- a.運動障害（手で抵抗を加え、それに逆らって動かしてもらい筋力低下がないか確認するの）
- b.知覚障害（筆で触って左右差無く感じるか、どの場所にどのくらいの知覚の低下があるか）
- c.反射の異常の有無
- d.日常生活でどのような障害があるか？
（腰がいたいのか、下肢が痛いのか、歩けないのが困るのか）
障害は、手術以外で改善する方法はないか

これらをきちんと確認する必要があります。MRIで、どんなに神経が圧迫されていようと、神経の障害がなければ急いで手術をする必要はありません。

「きちんと診察されましたか？」
他院で腰の手術を受けたが、改善せず当院を受診する患者に診察をすると、びっくりされる場合があります そんなことは手術の前にも後にも一度もされた事は無かったと…
一部の心無い医師に、きちんと診察をせず、レントゲンやMRIを見ただけで手術を決めるものがあります あなたは、きちんとした診察を受けて、手術を奨められましたか？